

国際 NGO プラン・インターナショナル

11月19日(日)に「夏休み読書感想文コンクール2017」表彰式を開催

国際 NGO プラン・インターナショナルは、11月20日の「世界こどもの日」に合わせて、11月19日(日)に「夏休み読書感想文コンクール2017 表彰式」を国連大学ビル(東京・表参道)にて開催します。

4年目を迎えた今回は、「夏休み読書感想文コンクール2017 想像するチカラ。行動するチカラ。」と題し、途上国の女の子が課題に立ち向かうチカラや、女性のリーダーシップについて知り、身近な社会の課題と関連づけて考え、自分ならどうするか、何ができるかを考えることをテーマとし、感想文を募集しました。

応募作品は年々増えており、今回は25の都道府県と海外の中高生から1099作品が届きました。一次審査、二次審査、そして審査員長の角田光代氏による最終審査を経て、表彰式では、個人賞の中学生3名、高校生3名とともに100作品以上の応募があった学校が表彰されます。表彰式当日は、課題図書出版社である英治出版と合同出版の各編集者と参加者によるトークセッションや、プランの学生グループ G-SChooL の活動紹介も行います。

表彰式のご取材を是非ご検討くださいますようお願い致します。

【プラン 夏休み読書感想文コンクール】

プラン・インターナショナルは、子どもや若者が可能性を最大限に発揮でき、誰も取り残されることのない世界を目指して活動しています。「夏休み読書感想文コンクール」は、次世代を担う全国の中高生が、同世代の途上国の子どもたちの「今」、「等身大の姿」、そして彼らの持つ「夢や可能性」について読書を通じて理解を深め、より良い世界をつくるためにできることを考え、その声を発信する機会として実施しています。



2016年の表彰式。角田審査員長による講評

【課題図書】 『わたしはノジュオド、10歳で離婚』ノジュオド・アリ、デルフィヌ・ミヌイ著 鳥取絹子訳(河出書房新社)
『国をつくるという仕事』西水美恵子著 (英治出版)
『わたしは13歳、学校に行けずに花嫁になる。未来をうばわれる2億人の女の子たち』
プラン・インターナショナル職員 久保田恭代、寺田聡子、奈良崎文乃著(合同出版)
『Because I am a Girl わたしは女の子だから』アーヴィン・ウェルシュ他著 角田光代訳(英治出版)

イベント開催概要

日時: 2017年11月19日(日) 13:00~15:30(受付12:45~)

場所: 国連大学ビル 2F レセプション・ホール

東京都渋谷区神宮前 5-53-70 ([地図はこちら](#))

JR 渋谷駅 12 出口から徒歩約 8 分、地下鉄表参道駅 B2 出口から徒歩約 4 分

主な内容:

1. 学校賞、個人賞の表彰、入賞作品の朗読、入賞者へのインタビュー
2. 講評 審査員長 角田光代氏
3. 課題図書出版社の編集者によるトークセッション
4. ユースからのメッセージ(プランの学生グループ G-SChooL)
5. 参加者の交流

プラン・インターナショナルは、子どもの権利を推進し、貧困や差別のない社会を実現するために世界 70 カ国以上で活動する国際 NGO です。創立は 1937 年。長年にわたり、子どもや若者、地域の人々とともに地域開発を進めてきました。すべての子どもたちの権利が守られるよう、とりわけ女の子や女性への支援に力を入れています。市民社会、政府機関や国際機関と連携しながら、世界を持続的に、前向きに変えていきます。

このリリースに関するお問い合わせ先

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン 広報担当 平田/後藤

〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22-11F

TEL 03-5481-6517 FAX03-5481-6200 MAIL Izumi.Hirata@plan-international.jp

世界の女の子に、生きていく力を。

